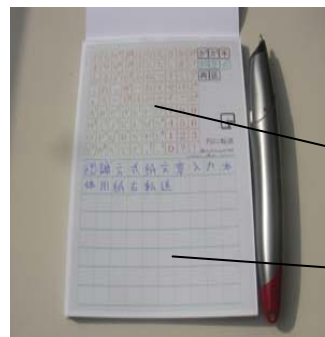


紙のキーボード

ーデジタルペンのための新しい日本語入力方式ー

開発者:野口喜洋(作家・山之口洋)

ペン先の位置検知・記録するデジタルペンに、ペンジェスチャーの検知、手書き文字認識、自然言語解析などの技術を組み合わせ、日本語の文章入力を高度に支援してくれる携帯電子文具を実現した。「紙」とITを組み合わせることで、紙の利点である「書き方の自由」とITの利点である「テキストデータ利用の自由」の両方の性質を持った新しい「日本語の書き方」を提案するものである。これまで認識精度に難があった手書き文字認識技術に対し、「漢字に限定し、前後のかなはキーボードから入力される」「個人が長く使い続ける」「ペン先の動きを時系列で記録できる」などの前提条件を活かしてIT要素を最適に結合することで、メモ用ツールとして十分な認識精度と利便性を達成できた。



いつでもどこでも、携帯便利な「紙のキーボード」にペンで手書き、キーを「タップ」

キーボード領域

(かな/カナ、英数、記号)

手書き領域

(漢字・図)

転送
(Bluetooth)

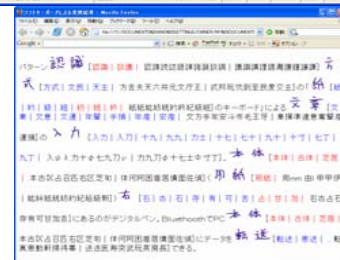
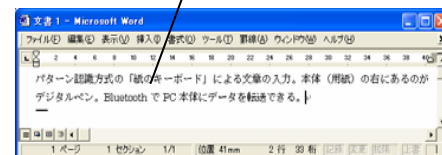


オフィスや自宅でPCに転送するだけで、「ソフトキーボード」が変換・文書化

変換

文書ファイル

(テキスト・HTML)



こんな
場面で

- 作家、ジャーナリスト
- 医療(カルテ等)
- 教育(学校、塾)
- 業務日誌